

- 問1 1859年の開港後、幕末の日本国内では生糸や米などの物価が急激に上昇し、庶民の生活が圧迫されました。このような事態を招いた直接的な原因として、当時の流通の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2017年 大分県公立入試 類似)
- 幕府が外国との戦争に備えるため、生糸や米などの主要な物資をすべて買い上げ、輸出を禁止したため
 - 外国から安価な綿製品が大量に輸入されたことで、国内の綿織物業が衰退し生産が止まったため
 - 貿易商人が輸出用の商品を確認するために国内産品を買い占め、国内市場で品不足が発生したため
 - 海外から大量の金が入ったことで国内の貨幣価値が相対的に上がり、物価のバランスが崩れたため
- 問2 幕末の社会混乱を描いた資料の中には、人々が「ええじゃないか」と唱えながら町々を熱狂的に踊り歩く姿が記録されています。この騒動の背景と特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 千葉県公立入試 類似)
- 廃藩置県によって自分の領地がなくなることに対し武士たちが、農民を扇動して起こした政治的な反乱であった。
 - 鎖国体制を維持しようとする江戸幕府を支持するために、都市の住民が攘夷の決意を固める目的で行ったデモ活動であった。
 - 社会の仕組みの変革を求める民衆の期待と、先行きの見えない不安が入り混じった世直しの動きの一つであった。
 - 明治政府が推進した文明開化の政策を歓迎し、新しい文化を受け入れるために民衆が自発的に始めた祝祭であった。
- 問3 日本の歴史において、政治の実権や文化の担い手は時代とともに変化してきました。次の歴史的な場面のうち、鎌倉時代に一遍が地方の武士の館を訪れ、新しい仏教の形を広めていった背景や様子を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2015年 千葉県公立入試 類似)
- 念仏を唱えながら踊る「踊念仏」を通じて、貴族だけでなく地方の武士や民衆の間にも信仰が広まった。
 - 幕末の社会不安の中で、民衆が「ええじゃないか」と歌い踊りながら各地で騒動を引き起こした。
 - 応仁の乱において足軽と呼ばれる歩兵が大量に動員され、従来の集団戦のあり方が大きく変化した。
 - 藤原道長のような有力な貴族が、天皇を自らの屋敷にもてなすことで摂関政治の全盛期を築いた。
- 問4 1858年に結ばれ、横浜などの港を貿易港として開港するきっかけとなった日米修好通商条約の内容について、当時の日本にとって不平等であったとされる制度の仕組みとして、正しい説明を一つ選びなさい。 (2024年 熊本県公立入試 類似)
- キリスト教の布教を公認する代わりに、日本側に有利な貿易品目を選定させたこと
 - 下田と函館の2港に限定して開港し、それ以外の地域での貿易を禁止したこと
 - 日本国内で罪を犯した外国人をその国の領事が裁く「領事裁判権」を認めたこと
 - 日本が輸出品に対して自由に高い税金をかけることができる「関税自主権」を獲得したこと
- 問5 1867年に開催されたパリ万国博覧会に関する歴史的な状況について、適切な説明はどれですか。 (2024年 山梨県公立入試 類似)
- 諸藩が一致団結して攘夷を訴えるため、海外製品の輸入禁止を諸外国に要求した
 - 江戸幕府がすべての藩を代表して参加し、日本の近代化が完了したことを宣言した
 - 薩摩藩と長州藩が連合して幕府名義の出品を妨害し、万博への参加を中止させた
 - 幕府と薩摩藩がそれぞれ独自の立場で出品し、国際社会において自らの正当性を主張し合った
- 問6 18世紀末から19世紀半ばにかけて、江戸幕府は外国船の来航に対し、強硬な姿勢から穏和な姿勢へと方針を二転三転させました。1842年に幕府が、それまでの「異国船を容赦なく打ち払う」という方針を撤回し、漂着した船に燃料や食料を分け与えて帰帆させることとした背景として最も適切な理由を記述した文を選んでください。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
- アヘン戦争で大国である清がイギリスに敗北したという情報を得て、武力衝突を避ける必要性を感じたため。
 - ロシアのラクスマンが根室に来航し、正式な国交を結ぶことが幕府の利益になると判断したため。
 - 江戸湾の沿岸警備を強化するなかで、軍事費の増大を抑制するために平和外交を優先せざるを得なかったため
 - 蚕社の獄によって弾圧された蘭学者たちの主張を認め、海外との自由貿易を推進する方針へ転換したため。
- 問7 幕末の政治的な動きに関して述べた文のうち、1860年に起きた「桜田門外の変」の説明として最も適切なものを1つ選べ。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- 日米修好通商条約の締結や反対勢力の処罰を推進した大老の井伊直弼が、水戸藩の元浪士らに暗殺された出来事。
 - 第15代将軍の徳川慶喜が政権を朝廷に返還し、江戸幕府の終わりを告げるようになった出来事。
 - 土佐藩の坂本龍馬らの仲介によって、対立していた薩摩藩と長州藩が密かに倒幕の同盟を結んだ出来事。
 - ペリーの来航を受けて、江戸幕府がアメリカとの間で下田と箱館の2港を開くことを決めた出来事。
- 問8 18世紀後半のイギリスにおいて、ワットによる蒸気機関の改良などをきっかけに、手工業から機械を用いた工場での大量生産へと移行し、産業や社会の仕組みが劇的に変化した出来事を何というか、名称を答えなさい。 (2017年 佐賀県公立入試 類似)
- 宗教改革
 - 市民革命
 - 農業革命
 - 産業革命
- 問9 江戸幕府がポーハタン号の上で調印した日米修好通商条約は、日本にとって不平等な条約であったとされています。この条約において、日本の「関税自主権」が認められていなかったことによる具体的な影響として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- 日本国内で犯罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことができず、不当な判決が下された。
 - 安価な外国産の綿製品などが大量に流入し、国内の綿作や綿織物業が打撃を受けた。
 - 下田や箱館の港が指定され、外国船に対して薪水や食料を供給することが義務付けられた。
 - 横浜や長崎などの開港場において、外国人が居住し営業を行う居留地が設けられた。
- 問10 幕末の政治的推移において、1850年代の開港から1860年代の倒幕運動へとつながる因果関係について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 佐賀県公立入試 類似)
- 幕府が朝廷の許可なく開港や条約調印を進めたことに反対派が反発し、それに対する安政の大獄での弾圧が、有力藩による薩長同盟などの倒幕運動を加速させた。
 - 安政の大獄によって幕府の権威が回復したため、諸外国との開港が円滑に進み、最終的には薩摩藩と長州藩が幕府を支えるために薩長同盟を結成した。
 - 開港による経済の混乱を防ぐために薩摩藩と長州藩が幕府に安政の大獄を提案し、その後に両藩が主導権を握るために薩長同盟を解消させた。
 - 薩摩藩と長州藩が同盟を結んだことで幕府が外交権を失い、その結果として日米和親条約が締結され、混乱を鎮めるために安政の大獄が行われた。
- 問11 幕末の政治的な混乱を招いた「桜田門外の変」が起きた理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
- 異国船打払令を緩めた幕府が、外国船の日本近海への接近を許し、沿岸の警備が手薄になったことに武士たちが憤ったため。
 - 将軍が政権を朝廷に返す大政奉還を表明したことに納得がいかない武士たちが、幕府を存続させるために実力行使に出たため。
 - 日米和親条約によって下田・函館の2港が開港された際、外国との貿易による物価高騰に苦しむ農民たちが幕府への不満を爆発させたため。
 - 大老の井伊直弼が、天皇の許可（勅許）を得ないまま日米修好通商条約を締結し、反対派を安政の大獄で厳しく処罰したことに反発が高まったため。